年間授業計画　新様式例

王子総合 高等学校 令和7年度（３学年用） 教科　国語　科目 論理国語β

教　科：　国語　　科　目：　論理国語β　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組～　6 組

教科担当者：

使用教科書：（『論理国語』（第一学習社）　）

教科　国語　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】習得した知識や技能を社会や他の技能と結びつける。

【思考力、判断力、表現力等】目的や意図に応じて情報を集め、正確に相手に伝えたり理解を得られるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】相手の立場に立ち、課題を理解し、主体的で対話的な活動を通して解決策を考える。

科目　論理国語β　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
1学期	『言語が見せる世界』 ・具体と抽象との関係を整理して論理構成を把握する。 ・「概念」についての筆者の主張をふまえて、言語と認識の関係について考える。	【知識・技能】 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する方法を学ぶ。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開をふまえながら要旨を把握する。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠をとらえるとともに、批判的に検討する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで筆者の主張とその根拠や論拠をとらえようとするとともに、内容に関して自らの考えをもち伝える。 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識・技能】 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する方法を理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠をとらえるとともに、批判的に検討し、論じている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、本文中の語句の定義を押さえ、粘り強く筆者の主張を読み取ろうとしている。	○	○	○	6
	記号的メディアと物理的メディア ・対比的な概念を的確にとらえ、筆者の主張をつかむ。 ・コミュニケーションの手段とその特徴について考え方を深める。	【知識・技能】 ・対比関係に注目して、文章の効果的な組み立てや接続のしかたについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、対比の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・メディアについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、対比の関係をとらえようとしている。 ・一人１台端末の活用　等		○	○	【知識・技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 ・「書くこと」において、個々の文の表現のしかたや段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、言葉の定義を行うことをとおして、進んで言葉について理解を深めようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	『リスク社会とは何か』 ・筆者が定義化する概念を正確にとらえる。 ・リスク社会の特徴を捉え、そのような社会での人間のありようについて考える。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感　を磨き語彙を豊かにする。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ 、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、本文中の比喩表現に注意しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえる。 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、本文中の比喩表現に注意しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	8
	仮説を立てて検証する ・仮説を立て、主張を支えるための根拠を探して検証する。 ・主張と根拠の関係を吟味し、必要な情報を集める。	【知識・技能】 ・文や文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解を深める。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、個々の文の表現のしかたや段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるように工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に単元の学習を生かしながら、情報の関係を意識して、説明文を書き、発表する。 ・一人１台端末の活用　等	○			【知識・技能】 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・推論のしかたについて理解を深め使っている。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 ・「書くこと」において、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の見通しをもって、主張と根拠の関係を吟味しつつ、積極的に仮説の検証をしようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1

2学期	共感覚と比喩 ・横書きの形式や、注、参考文献の示し方を理解する。 ・日常言語を客観的に分析する視点をもち、言語感覚を豊かにする。	【知識・技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・文章の種類にもとづく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に、学習課題に沿って、学術的な文章の構成や展開を的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握しようとしている。 ・一人１台端末の活用　等				○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、横書きの形式にも注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	8
	『現代日本の開花』 ・一般の開花と日本の開花との違いを整理しながら筆者の主張を捉える。 ・筆者の主張を自分に照らして考えを深める。	【知識・技能】 ・使用されている語句の定義を確認しつつ理解を深めている。 ・文や文章の接続の仕方や構成をとらえ、論の形式について理解を深めている。 ・情報どうしの関係づけのしかたについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容・構成を的確にとらえ、筆者の意図と考えられることとの関係をとらえている。 ・「読むこと」において、筆者の思考をふまえて、既有の知識や経験を基に自分の考えを深められている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・従来の物事のとらえ方や考え方を改めて見つめ直すことに興味・関心をもとうとしている。 ・一人１台端末の活用　等				○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、具体的な説明と抽象論の関係を意識しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	10
	定期考査							○	○		1
	『「である」ことと「する」こと』 ・対比的な概念や具体例の意図をとらえ、筆者の主張をつかむ。 ・「自由」という視点から日本の近代について考えを深める。	【知識・技能】 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。［(1)エ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。［B(1)オ］ ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料をもとに、必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりしている。［B(1)キ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、対比的な概念や具体例の意図を押さえつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。				○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、対比的な概念や具体例の意図を押さえつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	10
	テーマの具体化・焦点化 ・テーマを具体化・焦点化し、掘り下げる。 ・分析をもとに、考察を深め解決案を提示する。	【知識・技能】 ・文章中の項目立てをしながら、それについての段落内・文章内での配置をすることについて理解している。 ・情報の抽象度によって階層化し、推論することについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、反論の想定をしながら自分の考えを見直し、的確に伝わる文章になるように工夫している。 【主体的に学習に向かう態度】 ・テーマの掘り下げ方、分析、考察の深め方を誠実に学ぼうとしている。 ・一人１台端末の活用　等	○	○			【知識・技能】 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。 ・推論のしかたについて理解を深め使っている。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 ・「書くこと」において、個々の文の表現のしかたや段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習の見通しをもって、抽象度の違いに注意しつつ、粘り強く課題の具体化・焦点化を進めようとしている。	○	○	○	6
	定期考査							○	○		1
3学期	対立した意見をふまえて書く ・異なる立場の主張について、共通点・相違点をつかむ。 ・多様な意見をふまえて、自分の意見を書く。	【知識及び技能】 ・効果的な段落の構造について理解を深めている。 ・主張とその前提や反証などの関係について理解を深めている。 【書くこと】 ・「書くこと」において、テーマをふまえながら集められた情報の考えや根拠などを整理している。 ・「書くこと」において、多面的・多角的な視点から考えを検討し主張を明確にしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで多面的・多角的にテーマについてとらえようとするとともに、自らの考えを明確にし伝えようとしている。 ・一人１台端末の活用　等	○	○			【知識・技能】 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。 ・「書くこと」において、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の見通しをもって、異なる立場の共通点や相違点を意識しながら、積極的に意見を書こうとしている。	○	○	○	4
											合計 70